

# 豊中の未来を描こう！！

発行2016年12月

VOL. 122

今冬は  
寒さが厳しい  
気がします（泣）

豊中市議会議員  
無所属

## かんばらこういちろう 神原宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～



### 関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

#### 12月議会個人質問予定

##### ①官学協働の事務事業評価の実施について

～阪大生に事業評価をしてもらおう！！～

Q.1 大阪大学では学生や大学院生による『公開事業レビュー（事務事業評価）』が行われている。国の事業について、事業の効率性や合理性を学生目線で審議し、その議論の様子が一般公開されている。この事業レビューを豊中市の事業をもとに開催してはどうか？

Q.2 今年、開催された事業レビューには、市の職員も数人、傍聴されたが印象や感想は？

（意見）行政事業のあり方を、次世代を担う学生が考えることについては国も推奨しており、今年の阪大での事業レビューには行政改革担当大臣も出席。豊中市の事業をもとに大学生や大学院生に公開模擬事業レビューをってもらうことは、若い世代が政治や豊中市の施策に関心や関わりを持つきっかけになり、さらに官学協働の事業として、豊中市のPRにも繋がる可能性がある。早急の実施できるように努めて欲しい！！

##### ②契約の適正化について

～随意契約の課題を洗い出そう！！～

Q.1 ここ最近の随意契約の件数の推移は？

Q.2 第1号随意契約、いわゆる少額随契（予定価格が少額の契約）の場合、原則、複数の者から見積書を徴収する必要があるにもかかわらず、見積合わせを行っていないケースが散見される。問題認識と改善策をどのように考えているのか？

Q.3 第2号随意契約、いわゆる特命随契（契約の性質又は目的により契約相手が特定される契約）を採用しながら、複数業者からの見積もりを徴収できているケースがいくつかある。随意契約の妥当性が疑われるが、見解は？

（意見）地方公共団体が行う契約は一般競争が原則で、随意契約は法令で認められた場合のみ限定されている。具体的に説明できないものは随意契約をすべきではない。また、予算の効率化、公平性、透明性を高めるため、可能な限り競争入札を実施すべきではないか！？

##### ③人や物を活用した市のPRについて

～高校野球発祥の地・豊中 親善大使と言えど！？～

Q.1 来年1月にグランドオープン予定の文化芸術センターに、『のど自慢』や『おかあさんといっしょファミリーコンサート』などのテレビ番組の収録を誘致し、市や文化芸術センターのPR、子育て支援等、市の各種施策の推進に努めてはどうか？

Q.2 史上初、2年連続トリプルスリーを達成した山田哲人選手は高校野球発祥の地・豊中親善大使を務めて頂いているが、より一層の連携や市主催事業への協力を呼びかけては？

（意見）新設された文化芸術センターで、上述のようなテレビ番組の収録が行われると、豊中市や文化芸術センターを市内外に広くPRできるのではないかと？  
山田哲人選手の活躍は目覚ましく、より一層、市の事業への協力を働きかけ、スポーツ振興とともに高校野球発祥の地としてのブランド力の向上につなげるべき！！

# クリーンランド議会での審議報告

## まだあった税金の無駄遣いその1 ～剪定枝のチップ化に約1700万円～

Q. 昨年度、チップ化処理された剪定枝の量と経費は？  
一方、焼却処理された剪定枝の量と経費は？

A. 昨年度、チップ化した剪定枝の量は**234トン**、焼却した量は**5835トン**。チップ化経費は約**1700万円**で、剪定枝1トン当たりのチップ化経費は、約**7万2650円**。一方、1トン当たりの焼却処理経費は約**9600円**。

(意見)チップ化された剪定枝の量は、クリーンランドに搬入された剪定枝のわずか4%足らずで、1トン当たりのチップ化経費は、約7万2650円と極めて高い。多くの剪定枝は焼却され、1トン当たりの焼却処理経費は約9600円。剪定枝のチップ化を止め、必要なチップは購入すれば1000万円以上の歳出削減になる。来年度以降、剪定枝のチップ化事業は廃止すべき！！



## もっと便利に！！臨時ごみの自己搬入予約 ～ネット受付を開始してはいかが！？～

Q. 現在、市民の臨時ごみの自己搬入に関する受付は、電話予約で行っている。今年度末で受付業務の委託契約期間が満了となる機会に、電話予約をネット予約に変更してはどうか？

A. 電話受付でオペレーターが直接対応することで、搬入方法などをきめ細かく説明できるほか、搬入物の適正化も図られている。また、インターネット機器の無い方もいることから、電話による予約方法を今後も継続していきたい。

(意見)電話予約の大半は予約だけをすることで、説明等を求める方は少ない。より簡易に予約ができるネット予約の導入を検討するとともに、電話予約を継続するとしても、ネット予約との併用にして、電話回線数や電話受付時間、従事する人の数を減らすことで経費の抑制を図るべき！！

詳細は、ホームページ・議会報告をご覧ください。

[http://www.geocities.jp/positive\\_square/](http://www.geocities.jp/positive_square/)

ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

[young\\_spirit.jp@yahoo.co.jp](mailto:young_spirit.jp@yahoo.co.jp)



## 発行元 前向きひろば ～Positive Square～

〒560-0021 豊中市本町 3-1-20 エルビル 2 階

TEL & FAX: 06-6854-5664

平日(土・祝日は除く)の 10時から 17時はスタッフがおります。

[young\\_spirit.jp@yahoo.co.jp](mailto:young_spirit.jp@yahoo.co.jp)

[http://www.geocities.jp/positive\\_square/](http://www.geocities.jp/positive_square/)

Facebook 活用しています！！

「つながり日記」毎日 HP で更新中！！

※ご希望の方には通信を無料でお届けします。お気軽にご連絡ください。



## まだあった税金の無駄遣いその2 ～リサイクル事業の赤字額は約3.5億円～

Q. 再資源化経費は増加し続け、再資源化事業は約**3.5億円**の収支赤字。特に、プラスチック製容器包装の収支赤字は約**2.2億円**にもなっている。平成24年のリサイクルプラザ稼働後、赤字額の累積は10数億円にもなっているが見解は？

A. 事業を継続するために、経済的な観点も重要だが、循環型社会の構築という環境行政に対する社会からの要請に添えていくため、再資源化事業を今後も推進していく。

Q. 一方、ごみを焼却した際に発生するエネルギーを発電し電力会社に売電しているが、新ごみ処理施設の建設後、売電収入は大幅増加している。今年度予算では売電収入を約**9.1億円**と見込んでいる。このことを踏まえ、少なくとも再資源化経費が高額で、収支赤字額が極めて高いプラスチック製容器包装は、早急に焼却処分するように改め、再資源化経費の大幅な抑制を図るべきではないか？

A. プラスチック製容器包装は、有価物として売却できず、搬入量も多いため、赤字額増加の要因となっているが、リサイクルプラザの役割を考慮すると、限りある資源の有効利用と環境負荷の低減に努めていきたい。

(意見)経済的な観点も重要と言いながら、再資源化事業を今後も推進していくとの姿勢に納得がいかない。有価物として売却できないプラスチック製容器包装の資源化に2億円以上の税金を費やし続けることは、早急に止めるべき！！

## ＜プラスチック製容器包装の処理に関する比較＞

### ①プラスチック製容器包装を資源化する経費

約5350トンの資源化に約**2億1600万円**の歳出  
(平成27年度決算値で算出)

### ②同じ量を焼却処理し、発生した熱を電気に変え、電力会社に売電した場合の利益見込み

約6150円/トンの売電収入があり、5350トンで換算すると、約**3300万円**の利益見込み  
(平成28年度予算値で算出)

### (神原からの提言)

資源化すれば2億円超の経費がかかる一方、焼却処理すると、3300万円もの収益が見込まれるプラスチック製容器包装を今後も分別して資源化すべきと思いますか？

## 前向きひろば 神原宏一郎 事務所

